

大谷吉継殿へ

一六〇〇年九月十五日の関ヶ原の合戦での  
貴殿の戦いの生き様を聞き、私は思わず涙が  
出ました。また、合戦の前のお茶会の時、貴  
殿と石田三成殿との友情に心を打たれ、ます  
ます貴殿に興味を抱きました。  
ハンセン病という重い病気にかかりながら  
も、大将の三成殿の為、命も惜しまず必死に  
戦い抜いた決戦の生き様を私は尊敬します。

目も見えぬ、体も思うように動かさないうち、  
貴殿は何を思い、どのようなように戦ったのか……  
私がもしもタイムスリップが出来たら  
迷う事なくこの戦国時代へ行き、貴殿の家来  
となり、貴殿の為にこの命を捧げる覚悟です。  
関ヶ原の合戦から今年で四百十一年を迎え  
ました。貴殿のお墓がある関ヶ原の古戦場に  
今年の九月十五日に行つてみようと思ひます。  
貴殿を偲びながら、四百十一年前に起こった  
合戦を思いながら、貴殿に会いに行きます。